

第58期 中間報告書

平成30年1月1日から平成30年6月30日まで



第 18 回 厨房設備機器展（HCJ2018）当社出展ブース



大和冷機工業株式会社

<http://www.drk.co.jp>

証券コード 6459

株主の皆様へ

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、平成30年6月30日をもちまして、第58期事業年度の間中期（平成30年1月1日から平成30年6月30日まで）を終了致しましたので、この期間の事業の概況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年9月



代表取締役社長
尾崎 敦史



事業の概況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による各種政策の効果もあり、企業収益や雇用情勢が改善し、景気面では回復基調が続きました。一方、米国の政策動向や中国経済の下振れ懸念等、わが国経済を下押しするリスクにより、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社を取り巻く環境は、主要取引業種である外食産業、食品業界や一般小売業等において、個人消費の底堅い動き、外国人観光客の増加が売上に寄与したものの、低価格志向がいまだに根強いことに加え、業種業態を越えた競争の激化や深刻な人手不足の影響による人件費の上昇、原材料価格値上に伴うコストアップ等が影響し、引き続き厳しい状況にありました。

このような状況の下、当社は省スペース化や作業効率化に対する顧客ニーズにお応えした、小スペースにも設置可能な小型スチームコンベクションオーブンや優れた冷却性能と静音性を兼ね備えたウォーターディスペンサーを市場投入し、顧客満足度の向上に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高187億3千7百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益27億4千2百万円（前年同期比0.9%減）、経常利益27億8千8百万円（前年同期比0.9%減）、四半期純利益18億4千1百万円（前年同期比2.6%減）となりました。

今後の見通しにつきましては、雇用・所得環境や企業収益の更なる改善等から、景気の回復の継続が期待されるものの、米国の経済政策の動向や中国経済の下振れ懸念等、海外経済の不確実性から予断を許さない厳しい経済環境が続くものと予想されます。

このような環境の下、当社は、社業の安定成長を図るため、顧客のニーズを的確かつ迅速に捉えて新製品の開発と新規顧客の開拓に繋げ、常に安全・安心を提供できるサービス技術の一層の強化等、顧客の信頼に応えうる諸施策を積極的に推し進め、かつ、製造コストと経費の削減を図り、収益基盤の改善に努めてまいり所存であります。

なお、中間配当金につきましては、前期同様1株につき5円とさせていただきますので、ご報告申し上げます。

四半期貸借対照表

(単位：百万円)

資 産 の 部			負 債 の 部		
期 別 科 目	当第2四半期会計期間 平成30年6月30日現在	前 期 平成29年12月31日現在	期 別 科 目	当第2四半期会計期間 平成30年6月30日現在	前 期 平成29年12月31日現在
流 動 資 産	53,422	53,618	流 動 負 債	10,137	9,162
現 金 及 び 預 金	45,039	46,157	支払手形及び買掛金	4,948	5,010
受取手形及び売掛金	4,462	4,106	未 払 法 人 税 等	1,064	850
商 品 及 び 製 品	2,166	1,752	引 当 金	348	352
仕 掛 品	299	298	その他の流動負債	3,775	2,948
原材料及び貯蔵品	546	503	固 定 負 債	2,021	1,383
点検修理用部品	189	189	退職給付引当金	761	141
その他の流動資産	719	610	役員退職慰労引当金	1,250	1,232
貸倒引当金	△ 0	△ 0	その他の固定負債	9	9
固 定 資 産	20,869	17,761	負 債 合 計	12,158	10,545
有 形 固 定 資 産	9,110	9,220	純 資 産 の 部		
無 形 固 定 資 産	173	140	株 主 資 本	62,131	60,803
投資その他の資産	11,586	8,401	資 本 金	9,907	9,907
投資有価証券	2,111	701	資 本 剩 余 金	9,867	9,867
そ の 他 の 投 資	9,570	7,779	利 益 剩 余 金	42,565	41,237
貸倒引当金	△ 95	△ 79	自 己 株 式	△ 209	△ 209
資 産 合 計	74,292	71,380	評価・換算差額等	2	31
			そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	2	31
			純 資 産 合 計	62,133	60,834
			負債・純資産合計	74,292	71,380

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
(当第2四半期会計期間)
2. 有形固定資産の減価償却累計額 14,227百万円

四半期損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第2四半期累計期間 平成30年1月1日から 平成30年6月30日まで	前第2四半期累計期間 平成29年1月1日から 平成29年6月30日まで	前 期 平成29年1月1日から 平成29年12月31日まで
売 上 高	18,737	18,093	37,936
売 上 原 価	7,398	7,010	15,561
売 上 総 利 益	11,339	11,083	22,375
販売費及び一般管理費	8,597	8,316	16,976
営 業 利 益	2,742	2,767	5,398
営 業 外 収 益	101	90	167
受取利息及び配当金	28	15	27
スクラップ売却益	31	30	64
その他の営業外収益	41	44	75
営 業 外 費 用	55	44	99
スクラップ処分費	36	30	64
その他の営業外費用	19	14	34
経 常 利 益	2,788	2,813	5,466
特 別 利 益	1	—	16
固定資産売却益	1	—	16
特 別 損 失	47	0	1
固定資産除却損	0	0	1
投資有価証券評価損	47	—	—
税引前四半期 (当期)純利益	2,741	2,813	5,481
法人税、住民税及び事業税	935	952	1,635
法人税等調整額	△ 35	△ 29	51
法人税等合計	900	923	1,687
四半期(当期)純利益	1,841	1,890	3,794

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第2四半期累計期間 平成30年1月1日から 平成30年6月30日まで	前第2四半期累計期間 平成29年1月1日から 平成29年6月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	2,220	3,085
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,824	△ 495
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 512	△ 256
現金及び現金同等物 の増減額	△ 1,117	2,333
現金及び現金同等物 の期首残高	45,957	40,962
現金及び現金同等物 の四半期末残高	44,839	43,296

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は営業活動で得た資金を投資活動や財務活動に充てた結果、前事業年度末と比べて1,117百万円減少の44,839百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の増加は、2,220百万円(前年同期に増加した資金は3,085百万円)となりました。これは主に、税引前四半期純利益2,741百万円、未払費用の増加918百万円などが、法人税等の支払額683百万円、たな卸資産の増加額457百万円などを上回ったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は、2,824百万円(前年同期に減少した資金は495百万円)となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出1,500百万円、定期預金の預入による支出1,200百万円、有形固定資産の取得による支出265百万円などが、定期預金の払戻による収入200百万円などを上回ったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は、512百万円(前年同期に減少した資金は256百万円)となりました。これは主に、配当金の支払額512百万円であります。



創業60周年を迎え、初心に還り、
新しい価値の創造を通じて社会に
貢献してまいります。

厨房での使いやすさをカタチにしたデザイン

当社には他社にないユニークな冷蔵庫があります。

環境にやさしい冷蔵庫

- ノンフロン断熱
- HFC冷媒
- インバータ制御

業界オンリーワン製品の開発

- インバータ制御自動スライド扉冷蔵庫
- 小型ブラストチラー／ショックフリーザー

顧客ニーズに対応した製品

- 特注対面ショーケース・ワインセラー



GOOD DESIGN



自動
スライド扉
冷蔵庫





環境保護

HFC冷媒
ノンフロン断熱
フロン回収システム
CO₂削減

TOTAL SOLUTIONS



省エネ・省コスト

インバータ制御
DCファンモータ
新マイコン
低消費電力化

節水制御
高断熱構造
NHガラス



衛生管理

クリアコートステンレス
抗菌剤
防カビ剤
庫内アール加工
電解次亜水



高機能・高付加価値

自動スライド扉
電子式鮮度保持（鮮度くん）
静音設計（DCファンモータ・インバータ制御）
センターノンピラー冷蔵庫/冷凍庫
恒温高湿庫
急速凍結庫



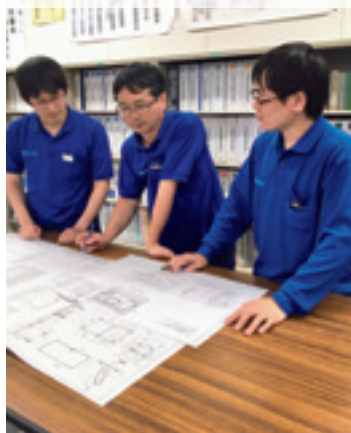
安全・安心

アラーム機能
漏電ブレーカー
診断機能
サービスネットワーク

2017年より海外向けに対応した冷凍・冷蔵庫の製造を開始。

設計から検査まで全工程、日本で行うことで高い信頼と高品質を保証しています。

設計品質



製造品質



製品品質



無響音室

2018 NEW MODEL

インバータ制御冷凍・冷蔵庫 エコ蔵くん

新デザインの表示パネル。握りやすく使い勝手のよいハンドル。
庫内容量のアップなど誰もが使いやすい仕様と機能で快適な
厨房環境を実現します。
センターノンピラー仕様は中柱がないため、大皿や大容器も
ラクラク収納可能です。



インバータ制御平型オープンショーケース

省エネ性能に優れたインバータ制御平型オープンショーケースが新登場。
アイス / 冷凍食品 / 精肉 / 鮮魚 / 日配 / 惣菜 / 弁当、用途に合わせて
温度帯を切替が可能です。



チップアイス製氷機

製氷能力、製氷コストの優れたチップアイス製氷機。
大容量タイプのため、スーパー・市場・レジャー施設など、大量に
氷が必要な現場で活躍します。



フラワーポット

LED 照明によるショーアップ効果、店舗に馴染む
やさしいデザインで新登場。
冷却効果アップと省エネ性、鮮度保持力の向上、
水替作業軽減等、日常作業が快適になりました。



インバータ制御下置型 大扉冷凍ショーケース

冷凍ショーケースにインバータタイプが新登場。
優れた省エネ性能と握りやすく使い勝手のよいハンドル、
フラットな前面パネルで、すっきりとしたデザインが店舗に
馴染みます。



小型スチームコンベクションオープン

業界最薄*1の省スペース設計

スペースに限りがある厨房に省スペースで設置できる小型タイプが新登場。
単相 200V 電源のため設置がカンタン。コンパクトながら様々な調理が可能で
複数の調理機器を 1 台で賄うことができます。

※1 2018 年 2 月現在。国内のスチームコンベクションオープンにおいて（当社調べ）



自動ゆで麺機

温度・注水・噴流を自動制御。
タッチするだけでテボが降りる
オートリフト機能搭載。設定時
間になるとテボがあがり自動で
傾斜。誰でも簡単に均一な仕上
がりになります。



真空包装機

保存・おいしさ・安全性、商品の
価値を高める真空包装機。
使い勝手の良い小型タイプのホッ
トパックモデルや大量調理に最適
な大容量モデル等、様々なニーズ
に対応します。



食器洗浄機 エコ洗くん

業界トップクラスの静音性。
視認性・操作性の優れた表示
パネル、清掃の容易なフラット
ハンドルなど使い勝手が向上
しました。



ウォーター ディスペンサー

店舗環境に配慮した静音性、
場所を取らないコンパクト設計。
使い勝手の良さと優れた冷却
力で、スムーズにお冷の提供が
可能です。



会社の概況

平成30年 6月30日現在

商号	大和冷機工業株式会社
英名	DAIWA INDUSTRIES LTD.
資本金	9,907,039,049円
発行可能株式総数	84,000,000株
発行済株式総数	51,717,215株（自己株式367,266株を含む）
中間期末株主総数	2,519名
大阪本社	大阪市天王寺区小橋町3番13号 大和冷機上本町DRKビル
東京本社	東京都台東区台東2丁目4番3号 大和冷機秋葉原DRKビル
佐伯工場	大分県佐伯市大字長良3325番地6
福岡工場	福岡県太宰府市水城6丁目32番1号
関東大根工場	埼玉県加須市豊野台1丁目345番地5
従業員数	2,467名
事業内容	・ 冷凍・冷蔵庫、ショーケース、製氷機、自販機及び冷熱応用製品の製造販売及びリース並びに点検修理 ・ 冷熱機器の設備の工事及び各種部品の製造販売並びに点検修理 ・ 厨房機器、装置、部品の製造販売及びリース並びに点検修理 ・ 店舗・厨房の企画、設計及び施工

役員

平成30年 6月30日現在

取締役最高顧問	尾崎 茂
代表取締役社長	杉崎 敦史
専務取締役	杉田 壽
取締役	前川 宏
取締役	西久保 博康
取締役	小野 明
取締役	尾崎 雅和
取締役	平出 広茂
取締役	工藤 哲郎
常勤監査役	大津加 治彦
監査役	日下 敏孝
監査役	野津 孝義

- (注) 1. 取締役 西久保博康、小野芳明の両氏は、社外取締役であります。
 2. 監査役 日下敏彦、野津孝義の両氏は、社外監査役であります。

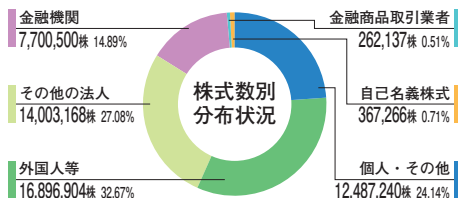
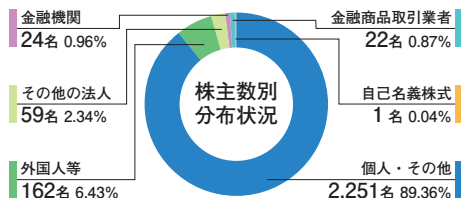
執行役員

平成30年 6月30日現在

社長執行役員	尾崎 敦
専務執行役員	杉田 壽
執行役員	前川 宏
執行役員	尾崎 雅和
執行役員	平出 広茂
執行役員	工藤 哲郎
執行役員	大久保 雅祥
執行役員	江村 彰忠
執行役員	中津 留
執行役員	乾 史宏

株式分布状況

平成30年6月30日現在



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
期末配当金受領株主確定日	12月31日
中間配当金受領株主確定日	6月30日
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人	特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	特別口座の口座管理機関連絡先 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部
公告の方法	電子公告により行う (公告掲載URL http://www.drk.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種のお手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、特別口座管理機関の三菱UFJ信託銀行にお問合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。

信頼で結ばれたワイドなサービスネットワーク

「より迅速に、よりの確に」をモットーに、お客様が安心しておいいただけるようトータルサポートでフォロー致します。

